

2023年1月12日

港湾工事業者の農業新規参入支援

～当行と日本政策金融公庫が連携～

株式会社 千葉興業銀行（頭取 梅田 仁司）は、東秀農育株式会社（代表取締役 河部 竜二、以下、同社）に対し、日本政策金融公庫 千葉支店 農林水産事業と連携して事業の立ち上げに必要な設備・運転資金を提供いたしましたのでお知らせいたします。

○異業種からの農業新規参入

同社は、観光農園事業を目的に、株式会社東秀開発（港湾工事業）の関連会社として2021年8月に千葉県千葉市で設立されました。両社の代表を務める河部氏は、実家が農家を営んでいたこともあり、「千葉県に恩返しをしたい」「農業を事業化し、従業員の活躍の場を広げたい」との思いから農業への新規参入を決断されました。

○当行と日本公庫が協調して支援

当行は、農業新規参入にあたり、営農計画の作成や作物の栽培に必要な設備の監修、研修フォロー、栽培指導を実施し、同社と若手農業者のマッチングによる人材確保、行政との調整や補助金申請支援等のサポートもいたしました。

また、異業種からの新規参入かつ大規模な事業計画であったため、計画段階から日本政策金融公庫と本事業について事業目標達成に向けた課題等の情報を共有したうえで、事業立ち上げに必要な設備・運転資金の融資を実施しております。

○事業展開

同社は、2023年1月、いちご農園を柱とした観光農園を開業しました。約60aの敷地ではいちごのほか、ブルーベリーやサツマイモ、栗などの栽培も開始し、年間を通して楽しめる農場づくりをすることで、農業体験などの食育活動の場を提供するとともに地域の農地維持、農業の発展に寄与することをめざしています。

また、いちご農園開業に先駆け、2022年11月には自社農園の「ふあいんファーム」へ千葉市内の保育園や幼稚園の園児とその保護者約1,000名を招き、サツマイモの無料掘取体験を実施するなど、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

当行は引き続き関係機関と協力し千葉県農業のさらなる発展に取り組んでまいります。

以上